

【出題のねらい】 社会生活の中から設定した話題について、収集した情報をもとに話し合いを行う場面である。決まった答えのない問いに対し、新学習指導要領で重視されている、互いの発言を踏まえながら、合意形成に向けて考えをまとめたり広げたり深めたりする力を問うことを意図した。

問

N中学校のAさん、Bさん、Cさんは、新聞記事に掲載されていた高校生
の活動を参考に、総合的な学習の時間に、みかん農家の佐藤さんと、
地元商店街で菓子店を営む鈴木さんの協力を得て新商品を開発する活動
を行った。次の【話し合い】は、新商品の名前をどのように決めるかにつ
いて話し合いをしている場面である。資料1、資料2、および【話し合
い】を読んで、あとの問いに答えなさい。

新しい発想で商品開発

キャラメル、つけみそ

香ばしい恵のみそから生まれたつけみそと
みそキャラメル



資料1

地元の特産品を使って新商品を
開発した高校生の活動に関する
新聞記事の一部
(令和5年1月4日 長崎新聞を改変)

資料2

Aさんたちの活動に協力してく
れた、みかん農家の佐藤さんと、
菓子店を営む鈴木さんの思い



佐藤さんのことば

育て方にこだわって、安心安全
で、甘くておいしいみかんを食
べてほしいという願いから「たい
ようみかん」は生まれました。たい
ようみかん」に込めた思いも、全
国の消費者に届けたいです。



鈴木さんのことば

地元の魅力を伝えるために、原
材料の特長を生かすことを大切
にしています。地元の方だけで
はなく、観光で訪れた人たち
にもおいしいお菓子を食べてもら
い、地元の魅力を知ってほしい
です。

【話し合い】

- A 佐藤さんと鈴木さんの協力を得て、さとう農園が生産する、味が濃くて甘みが強いみかんを使った新しいプリンが完成したね。
- B 新しいプリンの名前は、佐藤さんと鈴木さんの提案で、私たちが決めることになったよ。製品に込めたお二人の思いを多くの人に届けよう。
- A 私は、短くてインパクトのある名前がいいと思う。まずは商品に興味を持って手に取ってもらうことが大切だよ。「ザ・プリン」とかどうかな。
- B それではどんな味が分らないから、そもそも手に取ってもらえないと思う。率直に商品の中身を伝える名前がいいと思う。みかんの味を分かりやすく伝える、「甘いみかんプリン」はどうだろう。
- A 分かりやすくても、商品に注目してもらえなければ意味がないよ。しかも、「甘いみかんプリン」では、佐藤さんのみかんの特長しか言っていない。私は、活動を通して佐藤さんと鈴木さんの思いを知った。商品を手にとってもらって、協力してくれた二人の思いをより多くの人に伝えたい。
- C みかんの味を素直に伝えることは、鈴木さんの思いに込めることにもなるのではないかな。なぜなら、 からだよ。ここまでAさんとBさんの意見を聞いていて、AさんとBさんには共通した目的があることに気がついたよ。そこで、新商品の名前は次のような方向性で考えてはどうだろう。

問一 【話し合い】の には、どのような言葉が入るか。四十字以内で書け。

問二 あなたがCさんの立場なら、合意形成を図るために——線部の後でどのような提案をするか。次の条件一、二に従って、あなたの考えを百字以内で書きなさい。ただし、提案はAさんまたはBさんの意見のいずれかに賛成しても、あなた独自の意見を書いて構わない。

- 条件一 AさんとBさんに共通する目的を書くこと。
- 条件二 提案に対して、AさんとBさんの合意が得られるように、根拠を書くこと。